

# 学校支援ボランティア ハンドブック

地域で育てよう、大切な子どもたち！



奥州市学校支援地域本部事業実行委員会

# 1

## 学校支援ボランティアについて

子どもたちの教育のために役立ちたいという熱い思いを持って、学校の教育活動や学校環境整備などを支援するボランティア活動です。

### 活動の特色

- ・できる人が、できるときに、できることをします。
- ・子どもの健やかな成長のために、先生と一緒に支えあいながら学校をよりよくしていく活動です。
- ・金銭的なお礼を求める活動ではありません。ボランティア活動に対するお礼は子どもの「笑顔」と「ありがとう」の言葉です。
- ・学校を中心に、地域の人とのつながりを深め、より良い地域づくりを目指していく活動です。

### 活動を通して

- ・学校や子どもたちのことがわかり、子どもたちとのつながりができます。
- ・子どもたちから元気をもらえます。
- ・自分の特技や学んだことを生かすことができます。
- ・学校や子どもの役に立つことで、喜びや充実感を得ることができます。
- ・より向上したい、学びたいという意欲がわいてきます。

## 2

# 学校支援ボランティアの心がけ

学校でボランティアをするときには、自らの行動にも気を配りましょう。

明るくあいさつを心がけましょう

自信をもって大きな声で話しましょう

気づいたことはコーディネーターや先生方に相談しましょう

子どもの良いところを見つけて積極的にほめましょう

子どもに考える時間をとりましょう



## 守ってください！

×学校や先生に対する批判・批評は子どもの前では絶対に言わない。

×どんな場合でも体罰は禁止。

×個人情報や活動の中で知りえた子供の秘密は、たとえ家族や仲の良い友人であっても絶対に話さない。

×思想的に中立の立場で。営利目的の活動はしない。

ボランティアは「自発性」「無償性」「公共性」の3原則で！

# 3

## 支援の流れについて

学校支援ボランティアは学校と地域が連携して行います。各地区の地域コーディネーターが学校とボランティアをつなぎます。



### 奥州市学校支援地域本部事業対象校

水沢中学校支援地域本部（水沢中、水沢小、佐倉河小）

東水沢中学校支援地域本部（東水沢中、常盤小、羽田小）

水沢南中学校支援地域本部（水沢南中、水沢南小、真城小、姉体小）

江刺第一中学校支援地域本部（江刺第一中、岩谷堂小、江刺愛宕小、田原小、  
稲瀬小、江刺ひがし小）

学校支援前沢地域本部（前沢小、前沢中）

胆沢中学校支援地域本部（胆沢中、胆沢第一小、南都田小、若柳小）

衣川中学校支援地域本部（衣川中、衣川小、衣里小）

# 4

## 活動前に知っておきたいこと

学校支援ボランティアとして活動する場合、ちょっとした心の準備で気持ちよく活動することができます。

### ●学校にはねらいや計画があります

学校には、「こんな子どもに育ててほしい」という願いを込めた教育目標があります。これは、地域や子どもの実態を踏まえ学校ごとに決めています。

授業にはねらいがあり、子どもが考える時間を大切にしながら、おおむね導入・展開・まとめの3段階で計画的に行われています。

### ●学校は子どもの安全を守っています

学校には「子どもの安全確保」という使命があり、先生方は常日頃から気を配っています。そのため、学校関係者以外の突然の来校者、訪問者については、必ず目で確認し、安全を確かめるようにしています。このため、学校に行くと「どんなご用ですか。」とたずねられたりします。

### ●学校は子どもの人権を守っています

学校では、児童生徒やその家族についての情報を口外することはありません。それは、これから成長する子どもの将来を考えてのことです。学校支援ボランティアが、学校で知り得たことを口外してはいけないのもこのためです。軽はずみな言動は子どもに思いがけない影響を与えてしまうことがあります。



## ●学校の教員と話をする時間は限られます

先生方の一日のスケジュールはぎっしりとつまっています。直接話をしたい場合は、昼休みか放課後だと比較的時間をとることができますが、放課後も会議や研修、部活動の指導などがあるため、思ったように時間がとれない場合もあります。打合せをするためには事前に連絡を取り合い、時間を確保しましょう。

※学校では「校務分掌」といって、子どもの安全、学校行事や地域との交渉などの授業以外の学校のための仕事を先生方が分担しておこなう組織があり、それぞれ担当する業務をおこなっています。

## ●さまざまな子どもたちがいます

子どもにより個人差はありますが、それぞれの学年段階で、その様子は違います。配慮が必要な子が、学級に在籍しているなどもあります。子どもの様子をよく聞き、支援の方法や気をつけることがらをよく話し合っておきましょう。

## ●活動がキャンセルになることもあります

学校の授業や活動は、必ずしも計画通りに進むとは限りません。子どもの実態や当日の天候、突発的な事情などにより、授業の進み方が前後することがあります。そのためボランティアとして活動する日が急にキャンセルとなることがありますので、心得ておきましょう。

## ●活動を希望しているのに声がかからないこともあります

学校のニーズによりボランティア活動を調整するため、自分の希望どおりの要請がない場合もあります。得意分野だけにこだわらずに、できることをできる範囲で支援していこうという気持ち大切です。



## 学校支援ボランティアQ&A

**Q「ボランティア活動をしたいのですが、自分にできることがあるのでしょうか？」**

A 学校支援ボランティアにはさまざまな形があります。基本的には学校、教員が必要とする内容になりますが、読み聞かせなどは比較的誰にでも出来ますし、登下校時の安全確保・あいさつ運動も学校支援につながります。また、ゲストティーチャーとしての高度な学習支援や施設設備の補修など専門的な支援は強く求められるものです。

**Q「仕事があるので毎週・毎月決められた時間に行くのは難しいのですが」**

A ボランティア自体、無理をして行うものではありません。ご自身の都合のつく日、時間に参加していただければ結構です。例えば毎日行われる活動だとしても、決められた方がすべてに参加するのではなく、多くの方に参加していただくことにより負担も軽減されます。継続的な内容の活動を複数のボランティアが日替わりで行ってもよいのです。

**Q「費用負担や、専門的な活動に対しては謝礼金などありますか？」**

A ボランティアが学校支援に関する費用を負担することはありませんが、ボランティアが所有する器具・機材・車両などの使用協力を可能な範囲でお願いすることは考えられます。また学校支援ボランティアは原則無償ですので、活動内容にかかわらず謝礼金はありません。

**Q「活動中に適用される保険はありますか？」**

A ボランティア活動中や、活動のための移動時にけがをした場合、保険給付の対象となります。たとえば、児童の登下校の見守り中にけがをしたとき、活動中にカッターで手を切ったとき、帰宅中に事故に遭ったときなどが当てはまります。また、草刈り中の飛び石で他者の車を破損させたなどの際にも保険が適用されます。



## 奥州市学校支援地域本部実行委員会

〒023-1192 岩手県奥州市江刺大通り1番8号

奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課生涯学習係

TEL 0197-34-2497（直通）

URL <https://www.city.oshu.iwate.jp>